

AED よくある質問 Q&A

Q 救急隊を待った方が
良いのではないですか？

A 心肺機能が停止した場合、そのまま何もしないと、生存率は1分ごとに約10%ずつ減少してしまいます。一方、通報してから救急隊が到着するまでの時間は平均約10分であり、救急隊の到着を待っているのは、助かる可能性は限りなく低くなってしまいます。

到着まで
平均約10分



Q 電極パッドを貼り付ける際の
注意点はありますか？

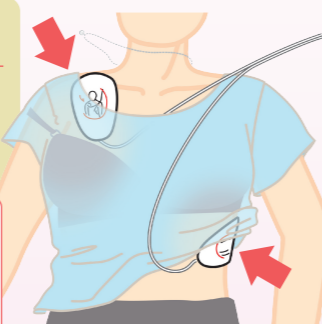
A ・汗などで胸が濡れている場合は、水分を拭き取ってください。
・電極パッドを貼る部分に貼り薬(湿布等)が貼られている場合は、貼り薬を剥がしてください。
・ペースメーカー等が植え込まれている場合(胸に硬いこぶのようなでっぱりが見える)は、このでっぱりを避けて電極パッドを貼ってください。
・車内など、揺れている場所では使用しないでください。



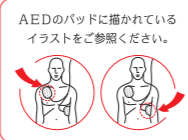
Q 女性へのAEDの使用について戸惑ってしまいますが、
プライバシーに配慮したAEDの使用法はありますか？

A 重要なことは電気ショックの時間を遅らせないことです。そのことを忘れずに可能な範囲で倒れている人に配慮をしてあげてください。

パッドを素肌に直接貼り付けることができなければ、ブラジャーを外す必要はありません。服の下で下着をずらして、右の鎖骨の下と左のわき腹のあたりに貼ることで対応できます。



金属製品(ブラジャーのワイヤー部分、ネックレス等)はパッドに触れさせないようにしてください。パッドに触れていなければ、ネックレスは無理に取り外す必要はありません。



パッドを貼った後に、上から上着やタオルなどをかけて大丈夫です

【監修】公益財団法人日本AED財団
【出典】東京都多摩府中保健所
【問合せ先】千葉県健康福祉部医療整備課
電話:043-223-3886

Q 心肺蘇生法の実施やAEDの使用
が失敗した場合、責任を問われる
のですか？

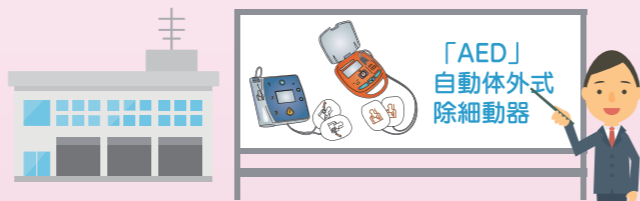
A 一般の人が、心肺蘇生法の実施やAEDを使用した場合、悪意や重過失がなければ罪に問われることはありません。



責任...
不安...

Q 講習はどこで受けられますか？

A 各市町村の消防や日本赤十字社で実施していますので、住所地または勤務地のある各市町村消防か日本赤十字社にお問い合わせください。そのほか、講習を実施しているNPO法人もあります。(NPO法人ちば救命・AED普及研究会)



お問い合わせ先

千葉県健康福祉部医療整備課
TEL 043-223-3886
FAX 043-221-7379

「千葉県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進に関する条例」の内容など、詳細については、県ホームページをご覧ください。



AEDは命をつなぎます 迷っても行動を

～AED・心肺蘇生法について学びましょう～



AEDを知っていますか？

AED(automated external defibrillator)は、日本語では、「自動体外式除細動器」といい、心停止の原因となる心室細動という不整脈を起こしている心臓に電気ショックを与え、正常な動きを取り戻すための医療機器です。

一般の人でも簡単に使用することができ、心肺蘇生法(内面参照)と合わせて実施することで、生存率と社会復帰率を大幅に上昇させることができます。

ひとりでも多くの方の命を救うためには、県民の皆様へAEDの使用法や心肺蘇生法(救命処置)について知っていただき、実際に行っていただくことがとても大切です。



県民の皆様へ

急な心停止は、お年寄りや病気の人に限ったものではありません。若くて健康な方でも突然起こってしまう可能性があります。

あなたの周りの人を救うために、勇気を持って救命処置を行ってください。

いざという時に自信を持って救命処置ができるように講習を受講しましょう。講習については、住所地または勤務地のある各市町村消防か日本赤十字社にお問い合わせください。

そのほか、講習を実施しているNPO法人もあります。(NPO法人ちば救命・AED普及研究会)

事業者の皆様へ

AED本体には耐用年数が、電極パッドやバッテリーには使用期限がありますので、いざというときにAEDが正しく作動するように、日常的にAEDの保守点検を実施いただくようお願いします。

また、AEDの設置にあたっては、設置場所をわかりやすく表示していただくほか、AEDの新規設置や撤去等をされた場合は県に届け出ていただくようお願いします。詳しくは県ホームページをご覧ください(お問い合わせ先等については裏表紙をご覧ください)。



講習の申込はお近くの消防、日本赤十字社又はNPO法人まで！

1. 反応を確認する

- 肩をたたきながら、大声で「もしもし、大丈夫ですか」と呼びかけます。頭や首にケガがあるとき、その疑いがあるときは、体を揺すったり動かしたりしてはいけません。
- 呼びかけなどに対して目を開けるか、なんらかの返答又は目的のある仕草がなければ「反応なし」と判断します。



意識なし

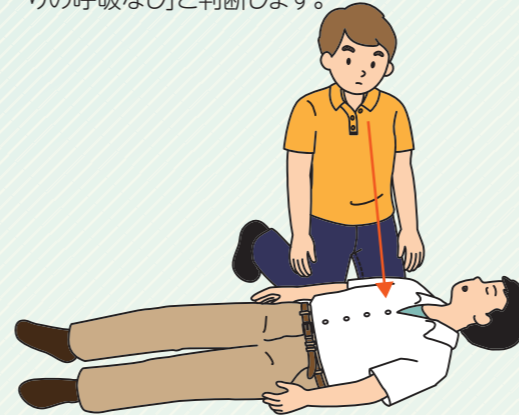
2. 助けを呼ぶ

- 反応がなければ、大声で周囲に助けを求め、「119番通報してください」「AEDがあれば、持ってきてください」などと指示します。
- 119番へ通報するときは人が倒れていることを伝えましょう。通信指令員が、行くべきことを指導してくれます。携帯のスピーカー機能を使用して落ち着いた声でそれに従ってください。



3. 呼吸を観察する

- 10秒以内で胸やお腹の上がり下がりを見て、普段どおりの呼吸をしているか判断します。
 - 普段どおりの呼吸がない*、または判断に迷う場合、ただちに胸骨圧迫を開始します。
 - 普段どおりの呼吸がある場合は、救急隊の到着を待ちます。呼吸が認められなくなったり、呼吸が普段どおりではなくなったりした場合には、心臓が止まったとみなして、ただちに胸骨圧迫を開始します。
- ※「胸やお腹に動きがないとき」、「10秒間確認しても呼吸の状態がよくわからないとき」、「しゃくりあげるような不規則な呼吸をしているとき」は「普段どおりの呼吸なし」と判断します。



4. 胸骨圧迫

- 胸の真ん中に片手のつけ根を置き、もう一方の手をその上に重ねます(小児・乳児は片手でも可)。体重を利用して1分間に100~120回の速さで胸が沈む程度(大人で約5cm、小児は胸の厚さの1/3)に真上から圧迫します(強く、速く、絶え間なく)。
- 傷病者が動き出したり、普段どおりの呼吸をし始めたりするか、救急隊に傷病者を引き継ぐまで、心肺蘇生とAEDの手順を続けます。



(人工呼吸の手順)

- 気道の確保を行います。
- 気道を確保したまま、額に当てた手の親指と人差し指で鼻をつまみます。
- 口を大きく開けて傷病者の口を覆い、約1秒間かけて胸が軽く膨らむ程度に、息を吹き込みます。
- 吹き込みは2回行います。



【心肺蘇生実施の後】

救急隊に引き継いだあとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗います。



【AED位置情報マップ】

AED位置情報マップでは、県内の施設等に設置されているAEDについて、地図上に表示された設置場所等の情報を、パソコンやスマートフォンから検索・閲覧できます。

閲覧方法

「ちば情報マップ」から、地図上のAEDのマークをクリック。

(パソコン・スマートフォンの場合)

URL:

<https://map.pref.chiba.lg.jp/pref-chiba/PositionSelect?mid=210>



【AED使用手順】

AEDが到着したら

【心肺蘇生とAED使用の手順の繰り返し】

- 電気ショック後もAEDはそのままの状態にしておき、ただちに心肺蘇生を再開します。
- 心肺蘇生を再開して2分経つとAEDが再度心電図を解析するので、傷病者から離れます。
- 以後、約2分おきに、心肺蘇生とAEDの手順を繰り返します。

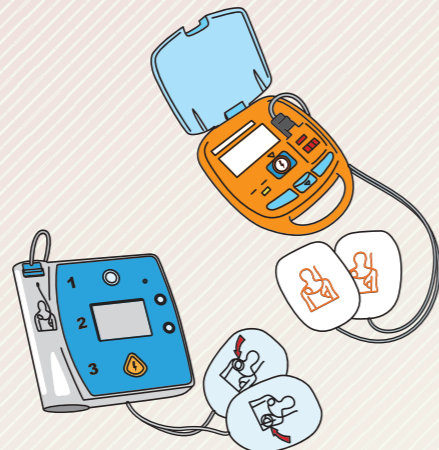
1. AEDの準備

- 心肺蘇生を行っている途中でAEDが届いたら、すぐにAEDを使う準備に移ります。
- AEDは傷病者の頭の近くに置くと操作しやすいです。



2. AEDの電源を入れる

- AEDの電源は、機種によって、電源ボタンを押すものとフタを開けると自動的に電源が入るものがあります。
- 電源を入れたら、音声メッセージと画面の指示に従って操作します。



3. 電極パッドを貼り付ける

- 傷病者の服の胸を開きます。
- 電極パッドを袋から取り出し、胸の右上と左下側の肌に直接しっかりと貼り付けます。
- 貼り付ける位置はパッドや袋のイラストを参考にします。
- 小学校に上がる前の子ども(乳児や幼児)に対しては未就学児用パッドや未就学児用モードを使用します。小学生や中学生以上の傷病者には小学生~大人用パッドを使用してください。(未就学児用パッドは流れる電気が不足するので使用できません。)



4. 傷病者から離れる

- 電極パッドを貼り付けると、「体から離れてください」と音声メッセージが流れ、心電図の解析が始まります。
- 心電図の解析後、電気ショックが必要な場合は、「ショックが必要です」と音声メッセージが流れます。
- 「ショックは不要です」と音声メッセージが流れたら、音声メッセージに従い、ただちに心肺蘇生を再開します。



5. 電気ショック

- 「ショックが必要」と音声メッセージが流れた場合、自動的に充電が開始されます。
 - 傷病者の体に誰も触れていないことを再確認します。
 - 充電が完了したら電気ショックを行うよう音声メッセージが流れるので、これに従いショックボタンを押します。
- ※電気ショックが必要な場合に、ショックボタンを押さなくても自動的に電気が流れる機種(オートショックAED)の場合、傷病者から離れるように音声メッセージが流れ、カウントダウンまたはブザーの後に自動的に電気ショックが行われます。AEDの音声に従って操作してください。



AEDについて (自動体外式除細動器)

AEDとは、心室細動と呼ばれる症状による心肺停止者に対し、電気ショックを与えることで、心臓の動きを正常に戻すための医療機器で、救命のためであれば一般市民でも使用が可能です。

AEDの使用を含めた心肺蘇生法の手順と実技は、消防機関や日本赤十字社等が実施する救命講習で学ぶことができます。

YouTube URL:
<https://www.youtube.com/watch?v=123NwuFrLyU>



また、千葉県の「AED・心肺蘇生法の普及啓発事業」で制作した救命処置動画では、チーバくんと一緒に救命処置を学ぶことができます。

YouTube URL:
<https://www.youtube.com/watch?v=v3K5r8DV7U>

